

Crematory

火葬場整備を考える

住民説明会で出たご質問と回答 多くのご質問をいただきありがとうございました

Q. 火葬場整備にかかる事業費はどれくらいか？

A. 建設する場所によって事業費が変わるため、現時点では確定していません。

Q. 整備に必要な面積は？

A. 建物、駐車場、建て替えのための余裕地などを含め、最低5,000㎡です。緩衝帯とよばれる緑地を含めれば1畝、またはそれ以上となりますが、予算のことも考えて決定します。

Q. 新たに建設する火葬場にペットの火葬炉を併設する考えはあるか？

A. 動物炉を設置する予定はあ

りません。近隣市にある民間の火葬施設を利用させていただきたいと考えます。

Q. 施設の完成は何年後か？

A. 候補地が決まれば、2023年度の供用開始を目指します。

Q. 菊川市にある火葬場「東遠地区聖苑」の仲間に入れてもらうことはできないのか？

A. 東遠地区聖苑は菊川市と掛川市の人口動態や死亡率などを勘案して造られたものであり、施設に余裕がある訳ではありません。地理的にも、御前崎地区からは片道1時間近く移動時間がかかるため、仲間入りは非常

に困難であると考えます。

Q. 人口減少が進んでいる時代だからこそ近隣市と仲良くし、公共施設の共有化を図る必要があるのでは？

A. 近隣市と協力し合うことは当然のことです。火葬場の単独設置は牧之原市とのけんか別れではなく、長年の協議の結果です。

Q. 候補地検討委員会は、権限を与えられた機関か？

A. 候補地検討委員会が候補地を決める訳ではありません。候補地は、委員会の報告書の内容に沿って市長が選定します。

照 会 環境課 ☎0537-1162

Atomic

暮らしと原子力

夏休み恒例の

こども発電施設等見学会を開催

市は、原子力に対する正しい知識と理解を深めてもらうと、「こども発電施設等見学会」を8月10日に開催しました。今年は小学4～6年生とその保護者計13人が参加し、浜岡原子力発電所、原子力防災センター(牧之原市)、川口水力発電所(島田市)の3カ所を見学しました。

浜岡原子力発電所では、原子力館内にある原子炉の実物大の模型などを見学。原子力発電の仕組みを学びました。

環境放射線監視センターとオフサイトセンターの機能を持つ原子力防災センターでは、災害時に内閣総理大臣も参加するテレビ会議を体験しました。

川口水力発電所では、直径5.8mもある送水用の水圧鉄管に直接触れたり、発電量を調整する制御パネルなどを見学したりしました。

市では、見学会を通じて原子力発電や他の発電方法との仕組みの違いなどについて学び、日本のエネルギーについて考えてもらうきっかけとなることを期待しています。

▼川口水力発電所を見学し説明を受ける様子



▼原子力防災センターでテレビ会議システムの説明を受ける様子

